

<アスベストQ&A集>

B 健康相談に関すること【健康関係】

(神奈川県環境課作成)

担当部署	健康医療局保健医療部がん・疾病対策課がん・循環器対策グループ 電話 045-210-5025
B-1	アスベストを吸引すると、どのような病気になりますか。 (令和6年4月1日更新)

【答】

アスベスト粉じんを吸入することによって起こる健康影響としては、石綿肺、肺がん、悪性中皮腫（胸膜、腹膜、心膜、精巣しょう膜）、良性石綿胸水（石綿胸膜炎）、びまん性胸膜肥厚があります。

① 石綿（アスベスト）肺

肺が線維化してしまう肺線維症（じん肺）という病気の一つです。肺の繊維化を起こすものとしてはアスベストのほか、粉じん、薬品等多くの原因があげられますが、アスベストのばく露によっておきた肺線維症を特に石綿肺と呼んで区別しています。

職業上アスベスト粉じんを10年以上吸入した労働者に起こるといわれており、潜伏期間は15～20年といわれています。アスベストばく露がなくなったあとでも進行することがあります。

② 肺がん

アスベストが肺がんを起こすメカニズムはまだ十分に解明されていませんが、肺細胞に取り込まれたアスベスト繊維の主に物理的刺激により肺がんが発生するとされています。また、喫煙と深い関係にあることも知られています。アスベストばく露から肺がん発症までに15～40年の潜伏期間があり、ばく露量が多いほど肺がんの発生が多いことが知られています。治療法には、手術療法、放射線療法、薬物療法などがあります。

③ 悪性中皮腫（あくせいちゅうひしゅ）

肺を取り囲む胸膜、肝臓や胃などの臓器を囲む腹膜、心臓及び大血管の起始部を覆う心膜、及び精巣・精巣上体を被う精巣鞘膜にできる悪性の腫瘍です。潜伏期間は20～50年といわれています。治療法には、手術療法、放射線療法、薬物療法などがあります。

④ 良性石綿胸水

胸水とは胸腔内に体液が貯留することであり、石綿以外の様々な原因によっても生じます。とくに、石綿粉じんを吸入することによって、胸腔内に胸膜炎による滲出液（胸水）が生じる場合を良性石綿胸水と呼びます。

⑤ びまん性胸膜肥厚

びまん性胸膜肥厚は、臓側胸膜（肺を覆う膜）の慢性炎症により繊維性に肥厚した状態であり、通常は壁側胸膜（胸壁を覆う膜）にも病変が及んで両者が癒着していることが多くみられます。胸膜プラークと異なり、びまん性胸膜肥厚は結核性胸膜炎など石綿以外の様々な原因によっても生じます。

参考 首相官邸ホームページ アスベストについてのQ&A

<http://www.kantei.go.jp/jp/asbestos/qa.html>

環境再生保全機構ホームページ

<http://www.erca.go.jp/asbestos/what/higai/shikkan.html>

B 健康相談に関すること【健康関係】

担当部署	健康医療局保健医療部がん・疾病対策課がん・循環器対策グループ 電話 045-210-5025
B-2	石綿肺や中皮腫は治療すれば治りますか。 (令和6年4月1日更新)

【答】

石綿肺は不可逆性の疾患であり、一度罹患すると現代の医学では治すことはできません。しかし、じん肺の法的定義では、軽度のじん肺を管理2，中程度を管理3，重度を管理4としています。

したがって、中程度まで(管理2，3)のじん肺に罹患した人に、粉じん作業等に従事させないことにより、重度(管理4)のじん肺に進むことを予防することは可能です。

中程度まで(管理2，3)のじん肺に罹患した人については、他の肺疾患と合併しない限り、粉じんを吸入しない仕事に就業するのであれば特に問題はありません。

一方、限局性・良性の中皮腫は、手術療法で治癒が期待できます。

限局性胸膜中皮腫はほとんどが良性ですが、まれに低悪性度のもの(かつて胸膜の繊維肉腫などといわれていました)があり、これらは通常外科療法で治すことができます。一般には、悪性胸膜中皮腫という場合、びまん性のものをさします。悪性びまん性胸膜中皮腫は、非常に予後不良な病気ですが、これに対する治療には、手術療法、放射線療法、薬物療法(抗がん剤治療)及び対症療法があります。

参考 一般社団法人 JATI 協会

<http://www.jati.or.jp/index.html>

国立がん研究センターホームページ

<http://ganjoho.jp/public/index.html>

担当部署	健康医療局保健医療部がん・疾病対策課がん・循環器対策グループ 電話 045-210-5025
B-3	中皮腫の発見には、どのような検査が必要ですか。 (令和6年4月1日更新)

【答】

良性の胸膜の中皮腫は、胸部単純X線写真や胸部CTで胸の中のしこりとして認められます。身体の外から細い針を刺して組織を採取して、診断がつくこともあります。手術でやっと診断がつくこともあります。

一方、悪性のびまん性の胸膜中皮腫は、胸部単純X線写真や胸部CTで肺全体をつつみこむように広がった胸膜の肥厚や多数のしこりとして認められ、胸水を多量に伴うこともあります。しかし、肺がんなどの胸膜播種(きょうまくはしゅ：肺がんが胸膜面全体にばらまかれて広がった状態)との鑑別が難しい場合も多く、胸に針を刺して胸水の中の腫瘍細胞を調べたり、局所麻酔下の生検(組織採取)や胸腔鏡などで胸膜面の腫瘍を採取してそれらを調べる必要があります。また、病巣の進展範囲を評価するために胸部・腹部CTやMRI、あるいは超音波検査などを行います。

参考 国立がん研究センターホームページ

<http://ganjoho.jp/public/index.html>

B 健康相談に関すること【健康関係】

担当部署	健康医療局保健医療部がん・疾病対策課がん・循環器対策グループ 電話 045-210-5025
B-4	アスベスト被害への予防策はどのようなものがありますか。 (令和6年4月1日更新)

【答】

過去、アスベストにばく露したことによる中皮腫や肺がんの発症を予防することについては、現在、有効な手段は明らかではありませんが、アスベストを吸い込んだ方が全て中皮腫を発症するわけではありません。吸い込んだアスベストの種類、量、期間などによって異なります。

肺がんについては、アスベストばく露と喫煙との組み合わせで肺がんの発症は相乗的に上昇するとの報告もあり、禁煙は重要です。

参考 厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudouki_jun/sekimen/index.html

担当部署	健康医療局保健医療部がん・疾病対策課がん・循環器対策グループ 電話 045-210-5025
B-5	どのような症状がある場合に、アスベストによる被害が予想されますか。 (令和6年4月1日更新)

【答】

一概にどのような場合にアスベストによる被害が要されるのかは断定することはできません。ただし、日常生活では次のような症状があるときには、アスベストによる被害が考えられます。

次のような症状がある場合には、早めに医療機関で受診するようにしてください。

- ① 息切れがひどくなった場合
- ② せきやたんが以前に比べて増えた場合やたんの色が変わった場合
- ③ たんに血液が混ざった場合
- ④ 顔色が悪いと注意された場合や爪の色が紫色に見える場合
- ⑤ 顔がはれぼったい場合、手足がむくむ場合や体重が急に増えた場合
- ⑥ はげしい動悸がする場合
- ⑦ かぜをひいて、なかなか治らない場合
- ⑧ 微熱が続く場合
- ⑨ 高熱が出た場合
- ⑩ 寝床に横になると息が苦しい場合
- ⑪ 食欲がなくなった場合や急にやせた場合
- ⑫ やたらに眠い場合

今健康に支障がない場合でも、アスベストによる健康障害は、潜伏期間が数十年と長い場合があります。アスベストにばく露するような作業に従事されていたのであれば、1年に1回は胸部レントゲン撮影等による健康診断を受診されることをお勧めします。

B 健康相談に関すること【健康関係】

担当部署	環境農政局環境部環境課大気・交通環境グループ	電話045-210-4111
B-6	昔、アスベスト製品の製造工場の近くに住んでいたことがあるが大丈夫でしょうか。 (平成31年4月1日更新)	

【答】

中皮腫は吸い込んだアスベストの量が多いほど発症のリスクが高いと考えられており、労働者など直接アスベスト又はアスベスト含有の製品を取り扱う方は、大量にかつ長期にわたって吸い込むので、最もリスクが高いと考えられています。

昭和30年代から40年代頃の間にはアスベスト製品製造工場の周辺に居住していた住民の中皮腫の発症については、その実態が明らかではありませんが、国においても情報の収集等を行って、一般住民のリスクについて検討することとされています。

ご心配な方は近隣の労災病院等の専門医療機関にご相談ください。

参考 厚生労働省ホームページ アスベストに関するQ&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudouki_jun/sekimen/topics/tp050729-1.html

B 健康相談に関すること【健康関係】

担当部署	健康医療局保健医療部がん疾病・対策課がん・循環器対策グループ 電話045-210-5025
B-7	県内でアスベスト疾患を専門に取り扱っている病院はありますか。 (令和6年4月1日更新)

【答】

下記の医療機関が専門外来を設置している病院です。

病院名	電話
関東労災病院	044-411-3131(代表) アスベスト疾患センター
横浜労災病院	045-474-8003(直通) アスベスト疾患ブロックセンター
神奈川県立循環器呼吸器病センター	045-701-9581 (内線 2407) アスベスト専門外来

参考 独立行政法人労働者健康安全機構

<http://www.johas.go.jp/shinryo/asbestos/tabid/373/Default.aspx>

神奈川県立循環器呼吸器病センター

<http://junko.kanagawa-pho.jp/patient/outpatient/spe-asbestos.html>

公益財団法人神奈川県予防医学協会

http://www.yobouigaku-kanagawa.or.jp/corporate_service/office_life/asbestos_analysis.html

公益財団法人神奈川県予防医学協会でもアスベストの健康診断を実施しております。
詳細は、検診計画部（電話 045-641-8503）にお電話ください。